

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 清流の国ぎふ森林・環境基金市町村等提案事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 恵みの森づくり推進課 恵みの森づくり係

電話番号：058-272-1111 (内 3029)

E-mail: c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 102,500千円 (前年度予算額：137,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	137,000	0	0	0	0	0	137,000	0	0
要求額	102,500	0	0	0	0	0	102,500	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 平成24年度から本県の恵まれた自然環境を保全・再生し、森林や河川の持つ公益的機能をより高める取組みを進めるため清流の国ぎふ森林・環境税を導入。
- その中で地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進のため、団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくり・川づくり活動への支援や、地域住民の意向や地域の実情に精通している市町村が特に必要と考える事業に対し支援を実施する。

(2) 事業内容

【地域活動支援事業】

補助対象事業：団体等が提案する森づくりや川づくり活動

事業主体：県内で活動をする地域団体や法人

補助率：補助対象経費500千円以下の部分は10/10以内、補助対象経費500千円を超える部分は1/2以内

1事業あたりの補助限度額：上限2,000千円、下限300千円

*地域活動の模範となる質の高い事業を実施するため、令和3年度事業から1事業あたりの上限・下限額を引き上げる

*モデル事業（プラスチックごみ対策）については、補助対象経費1,000千円以下の部分を10/10以内、それを超える部分を1/2以内とする。

【市町村提案事業】

補助対象事業：市町村が提案する森林・環境税の理念に沿った事業

事業主体：市町村

補助率：10/10以内または1/2以内（事業の種類による）

1事業あたりの補助限度額：上限10,000千円、下限5,000千円

（3）県負担・補助率の考え方

清流の国ぎふ森林・環境基金対象事業

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	211	業務旅費
需用費	189	事務用品代
役務費	200	通信運搬費
補助金	101,900	清流の国ぎふ地域活動支援事業・市町村提案事業補助金
計	102,500	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

・「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1)地域の魅力の創造・伝承・発信 - ②美しく豊かな環境の保全・継承

・第3期岐阜県森林づくり基本計画

第7章 1 健全で豊かな森林づくりの推進

(3)森林空間の利用の促進（里山林の保全・利用の促進）

（2）国・他県の状況

・平成15年度に高知県で導入されて以来、現在37府県で導入している。

・令和元年度より、国の森林環境譲与税が導入された。

（3）後年度の財政負担

課税期間である令和3年度まで税収に応じ事業を実施。

（4）事業主体及びその妥当性

森づくり・川づくり活動を自ら企画・立案・実行する団体や、地域住民の意向や地域の実情に精通している市町村に対し支援を実施することで、地域のニーズに基づいた環境保全活動を推進することができる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	清流の国ぎふ森林・環境税を活用した提案事業
補助事業者（団体）	県内で活動をする地域団体・法人、市町村 （理由）地域のニーズに基づいた環境保全活動に取り組む地域団体や、市町村に対し支援を実施
補助事業の概要	（目的）地域のニーズに基づいた環境保全活動の推進 （内容）団体等が自ら企画・実行する創意工夫ある森づくり・川づくり活動や、地域の実情に精通している市町村が特に必要と考える事業を支援
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 （例：人件費相当額） （内容） 地域団体等：補助率 10/10 以内または 1/2 以内 下限 300 千円 上限 2,000 千円 市町村：補助率 10/10 以内または 1/2 以内 下限 5,000 千円 上限 10,000 千円 （理由）地域のニーズに基づく環境保全活動推進のため
補助効果	地域の実情に沿った環境保全活動の推進
終期の設定	終期令和 3 年度 （理由）清流の国ぎふ森林・環境税の終期であるため

（事業目標）

- ・ 地域住民が主体的に森づくり・川づくりに取り組む
- ・ 市町村が地域のニーズに基づいた環境保全活動を進める。
- ・ それにより緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28 年度末)	実績見込 (R3 年度末)	目標 (終期)
① 団体等の活動支援件数	182	429	382
② 市町村の提案事業件数	279	452	469

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	122,639 千円	125,837 千円	123,873 千円	(予算額) 136,400 千円	(要求額) 101,900 千円
指標①目標	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
指標①実績	56 件	57 件	54 件	(推計値) 40 件	(推計値) 40 件
指標①達成率	140%	143%	135%	(推計値) 100%	(推計値) 100%

指標②目標	50件	50件	50件	20件	20件
指標②実績	44件	44件	45件	(推計値) 20件	(推計値) 20件
指標②達成率	88%	88%	90%	(推計値) 100%	(推計値) 100%

(前年度の成果)

- ・59団体等から59件、モデル事業は3団体から3件、18市町から22件の応募あり。
- ・事業評価審議会(3/3)での意見を踏まえ、団体等55件(26,042千円)、モデル事業3件(2,346千円)、市町16件(97,556千円)の採択事業を決定(3/31)。現在、事業実施中。

(今後の課題)

- ・多くの県民に参加いただけるよう本事業を周知する必要がある一方で、応募内容を精査し、効果が高いと考えられるものを支援する必要がある。
- ・すべての市町村が活用できるよう、事業説明会や優良事例の紹介などを通じ、事業の活用を積極的に働きかける必要がある。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○: 必要性が高い △: 必要性が低い 	
(評価)	○ 地域が主体となった環境保全活動の促進につながる施策のため、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○: 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △: まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	○ 採択予定件数を上回る応募があり、県民ニーズが非常に高い事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) ○: 効率化は図られている △: 向上の余地がある 	
(評価)	○ 必要性や効果などの観点から厳格な審査に行い、事業評価審議会の意見を踏まえ、効果的、効率的な事業を採択している。

(事業の見直し検討)

- ・令和3年度事業より、団体支援について、1事業あたりの上限・下限額を引き上げる。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由) 清流の国ぎふ森林・環境基金事業の継続を前提に事業継続